

# 大阪府内の高等学校における大学連携状況と進路指導に関するニーズ調査

【趣旨】各高等学校における大学との連携状況や進路指導に関するニーズを把握し、今後の連携強化を目的とする。

【対象】大阪府内の国公立私立高等学校

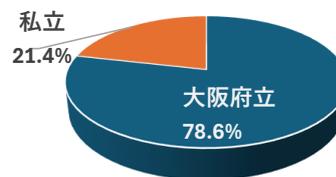
【実施時期】2024年6月24日～8月23日

【調査主体】特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪

回答件数: 42校 / 243校

## I 学校種別

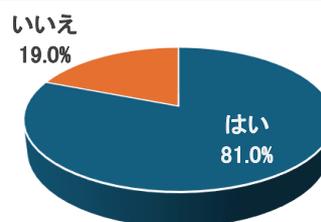
大阪府立	33
私立	9
国立	0



## II 大学との連携状況について

### 1. 現在大学と具体的な連携や取組を実施しているか

はい	34
いいえ	8



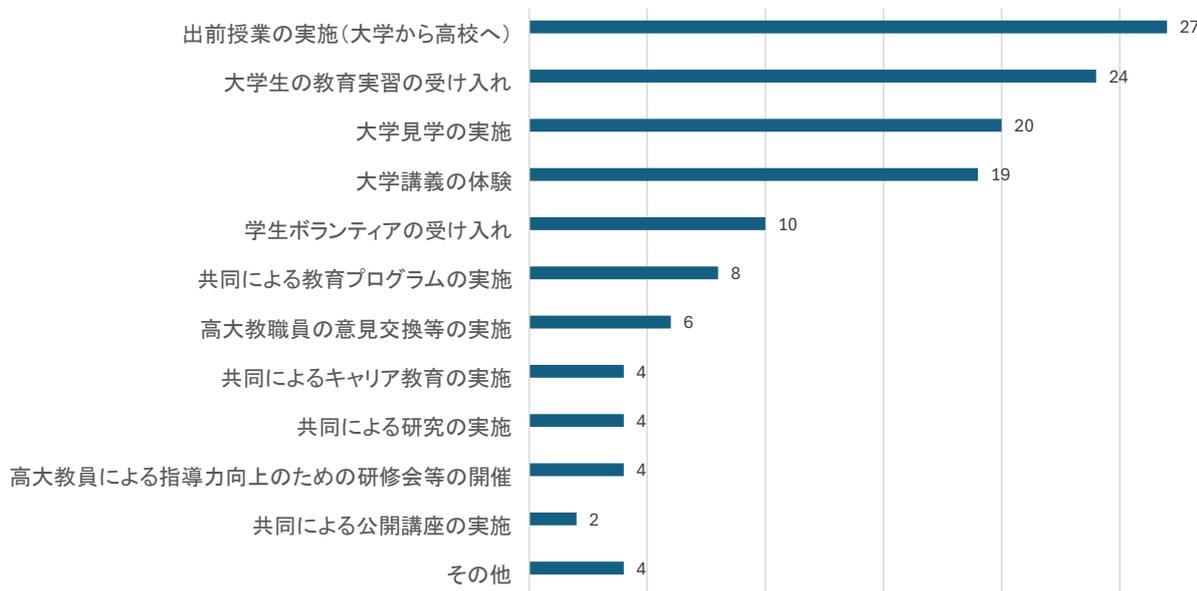
【以下2.～5.は、1.で「はい」と回答の34校】

### 2. 大学との連携内容(複数回答可)

出前授業の実施(大学から高校へ)	27
大学生の教育実習の受け入れ	24
大学見学の実施	20
大学講義の体験	19
学生ボランティアの受け入れ	10
共同による教育プログラムの実施	8
高大教職員の意見交換等の実施	6
共同によるキャリア教育の実施	4
共同による研究の実施	4
高大教員による指導力向上のための研修会等の開催	4
共同による公開講座の実施	2
その他	4

<その他>

- ・ グローバルインターンシップ生の受入
- ・ 課題研究の指導助言
- ・ 高校生の探究科の補助
- ・ 高校生から大学への出前授業



### 3. 高大連携の体制

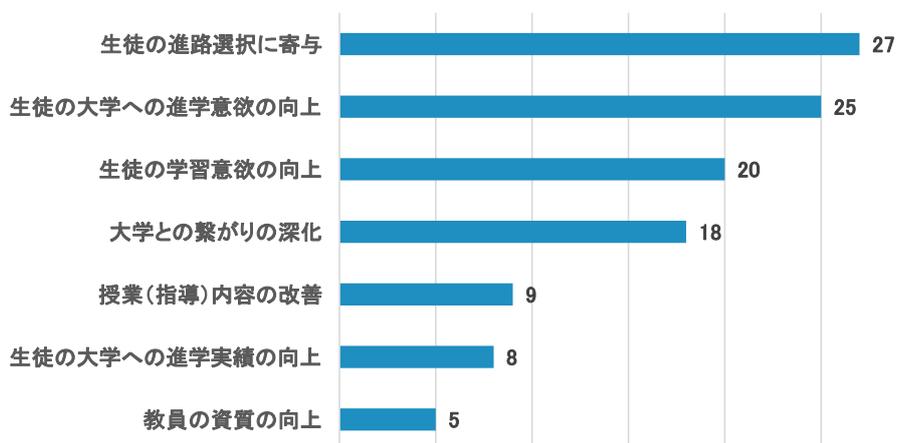
高大連携の責任者(窓口担当者)を1名おいた上で、複数の教員が担当している	18
複数の教員が個々に担当し、特定の責任者(窓口)は置いていない	13
1名の教員が全て担当している	3

1名の教員が全て担当している, 8.8%



### 4. 大学との連携により得られた効果(複数回答可)

生徒の進路選択に寄与	27
生徒の大学への進学意欲の向上	25
生徒の学習意欲の向上	20
大学との繋がりの深化	18
授業(指導)内容の改善	9
生徒の大学への進学実績の向上	8
教員の資質の向上	5



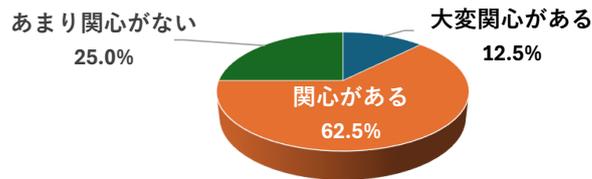
### 5. 大学との連携によって取り組みたい事業やテーマ等(自由記述)

- ・ 大学祭の参加新たな連携の提携
- ・ 本校実施の販売実習「淀翔モール」への出展。高校生の授業支援サポート
- ・ 現在もすでに一部行っているが、本校の生徒が実施する課題研究に対して、指導助言いただける大学教員とつながりたい。
- ・ 本校生徒と大学生とが共同で研究に取り組むことなど
- ・ 分野別説明会での連携、大学見学
- ・ 大学の研究発表会への参加(見学・発表)
- ・ 現状実施しているものは希望者対象の企画がほとんどであるため、もっと多くの生徒に大学の学びに触れてほしいと考えている。高校1年生の後半で、やりたいことや文理選択を考えるにあたって、いろんな学部学びを知ったり体験したりする機会があればと思う。自分で選んで参加するオープンキャンパスなどでは、今関心がある学部だけになりがちなので、あえていろんな分野に触れる機会を設けたい。
- ・ 生徒が3年生で取り組んだ「課題研究」などの研究の継続。
- ・ 総合的な探究の時間の共創(2件)
- ・ 探究活動(課題研究)に取り組むにあたって、高校の設備では対応できないことがある。また、専門的な知見・指導が必要なこともある。そのような場合に可能ならば無償で協力していただければありがたい。

【以下6.7.は、1.で「いいえ」と回答の8校】

6. 大学との連携に関心があるか

大変関心がある	1
関心がある	5
あまり関心がない	2
関心がない	0



7. 大学との連携にあたり、課題と思われる点(複数回答可)

大学との連携が必要となっているが、具体的に何をしたらよいかわからない	2
大学との連携によって、得られる成果がイメージできない	1
どの大学・どの教員と連携したらよいかわからない	3
大学と連携するにあたって、大学側の窓口や依頼方法がわからない	3
大学と連携するにあたって、大学との効果的な役割分担がわからない	0
大学と連携して事業を行う体制(人数・時間・スキル等)が整っていない	3
大学と連携するにあたって、手続きや調整が煩雑であると思われる	2
大学と連携して事業を行う予算の確保がむずかしい	2
その他	1

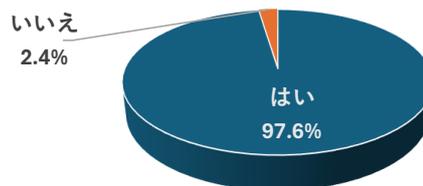
<その他>

- ・生徒が関心を持ってくれるかわからない

Ⅲ 大学進学に関する進路指導について

1. 大学進学に関する進路指導を実施しているか

はい	41
いいえ	1



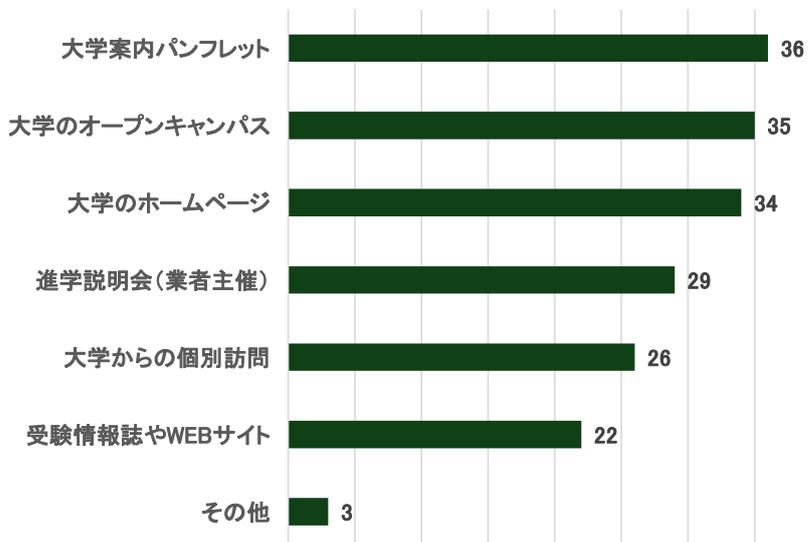
【以下2.~4.は、1.で「はい」と回答の41校】

2. 進路指導で活用している情報の入手先(複数回答可)

大学案内パンフレット	36
大学のオープンキャンパス	35
大学のホームページ	34
進学説明会(業者主催)	29
大学からの個別訪問	26
受験情報誌やWEBサイト	22
その他	3

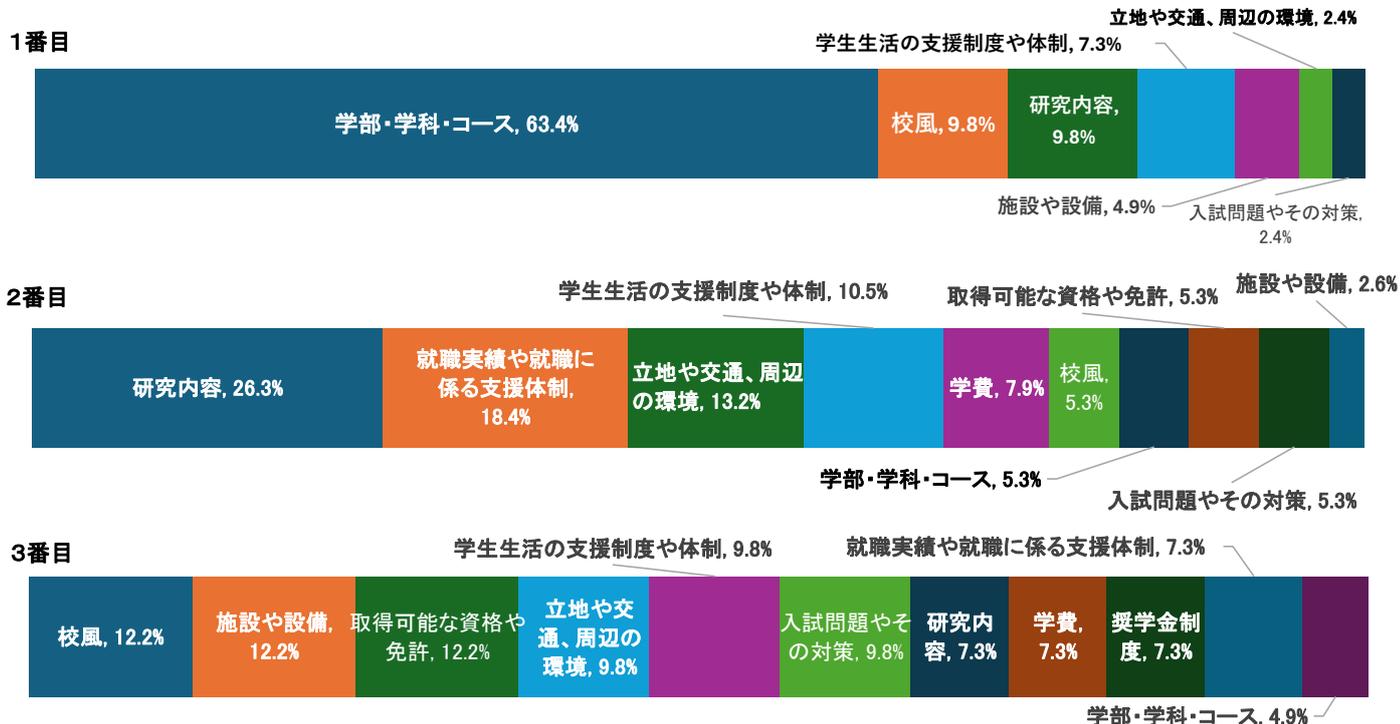
<その他>

- ・校内ガイダンス
- ・ベネッセ 河合塾
- ・高校での進学ガイダンス



### 3. 生徒に進路指導を行う際に重視する大学の情報(以下の選択肢から上位3つを選択)

校風	奨学金制度
立地や交通、周辺の環境	取得可能な資格や免許
施設や設備	留学制度
学部・学科・コース	アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針)
研究内容	就職実績や就職に係る支援体制
部活動やサークルなどの学生活動	大学院への進学実績
学生生活の支援制度や体制	入試問題や対策
学費	その他



### 4. 進路指導にあたり、大学に対して期待すること

- ・大学の魅力を大学生から語っていただく機会があれば。
- ・探究活動に取り組む生徒が優先されるような入試枠を拡大してほしい。また、現在の総合型選抜における探究活動の成果と学力のバランスの割合をもう少し探究活動の成果のほうを重視してほしい。
- ・生徒への面倒見の良さ
- ・易きに流れず、しっかりと鍛えられた高校生に受験してほしいというメッセージが伝わる、受験科目や配点としてもらいたい。多くの大学がその流れに乗れば、日本の将来を担う高校生、大学生のレベルが上がっていくと思う。また、理系、文系と分けなければいけない大学入試の現状も打開して、理系文系の枠にはまらない優秀な人材を育てる枠組みに全体としてなっていけばよいと考える。
- ・研究、及び教育内容の独自性
- ・大学での学びの魅力、面白さをもっと伝えてほしい。この大学でこれを学びたいというのをしっかり持たせるのが難しい。大学の知名度、資格、就職といったことで選ぶ生徒が多いので、もっと学びの中身に興味を持たせる手立てがほしい。HP等を閲覧させてはいるがそれだけでは弱く感じている。
- ・総合型選抜に関する細かい情報の提供。大学進学後の、本校卒業生の状況。
- ・大学で現在進められている学び、研究、そのスタイルの周知。調べやすいHPの作成もしくはマニュアルの提供。
- ・最後までこつこつ勉強を積み重ねてトライする受験方式をきっちり残してほしい。
- ・総合型選抜では、生徒も高校教員も相当の労力を要するが、時に結果に対して高校側の立場で、合格に至らなかった理由が分からないケースがある。項目別の結果公表は難しいと思われるが、労力に見合うのか合否結果に納得が得られるような結果公表をいただければありがたい。